

Chari 自転車

3分でわかるチャリチャリ



「まちの移動の、つぎの習慣をつくる」を理念に、
福岡でサービスを展開しています



累計ライド数(サービス開始後2年)

>220万回

チャリチャリは福岡の皆さまに愛していただき
たいへん早いペースで成長しています。

日次ライド数(2020年5月)

>8000回/日

平均的に毎日8000回を超えるご利用水準にまで成長。
一台あたり高い自転車回転数を誇ります。
福岡でたくさん走っています!

ご登録者数

>14万ユーザー

まもなく福岡の人口の1割に到達する勢いです。
※8割のご登録は福岡市内在住のお客さまです。

日次ライド時間計

>12万分/日

毎日多くの移動をお支えしています。
対前年同月比でおよそ2倍に増えています。

2020年4月、福岡市との共同事業に採択いただきました

2018年2月27日
サービス開始

福岡市でのサービス開始



2018年6月
福岡市との共同事業開始

福岡スマートシェアサイクル実証実験



2019年1月
自転車1000台へ増強
第2世代のスマートロックに変更



2019年10月
電動アシスト自転車を公表
10万ユーザを突破

2020年1月
自転車1500台体制に
増強開始

メルカリグループ



2019年8月
クララオンライングループ入り
(クララオンラインとメルカリの出資)

2019年7月
neuetを設立・移管

2020年4月
福岡市との本格的な
共同事業者としてさらなる拡大

福岡スマートシェアサイクル事業
(2020/4~)



チャリチャリは福岡のいたるところにあります



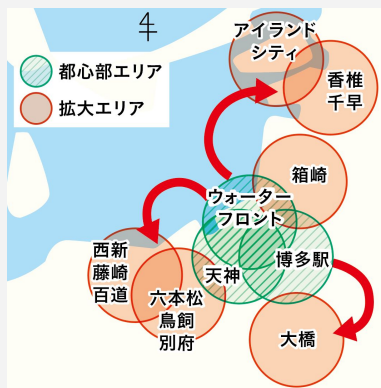
(順不同)



- ホテル/コンビニ/商業施設など移動の起点・終点・通過点になるエリアを積極的に開設しています。
- 市民の皆さまからのご要望や、企業からの設置依頼にもご対応し、送客やテナント・不動産の価値向上にも繋がっています。
- 回遊性の向上・観光利用・日常移動など複数のニーズを想定しています。

チャリチャリには明確な成長戦略があります

①福岡市内でのサービス拡充



ご利用実態に応じてエリアを拡大します。
今後2年で自転車台数は約4000台、ポート数は500カ所を目指しています。

自転車の移動データを分析してエリアを拡大し、利便性をさらに高めます。

②複数地域への展開



マザーシティである福岡を中心に、高い人口密度と利用シーンが想定される都市に横展開していきます。

複数の地域への展開準備が進行中です。2年後をめどにさらに拡大します。

③電動モビリティの導入

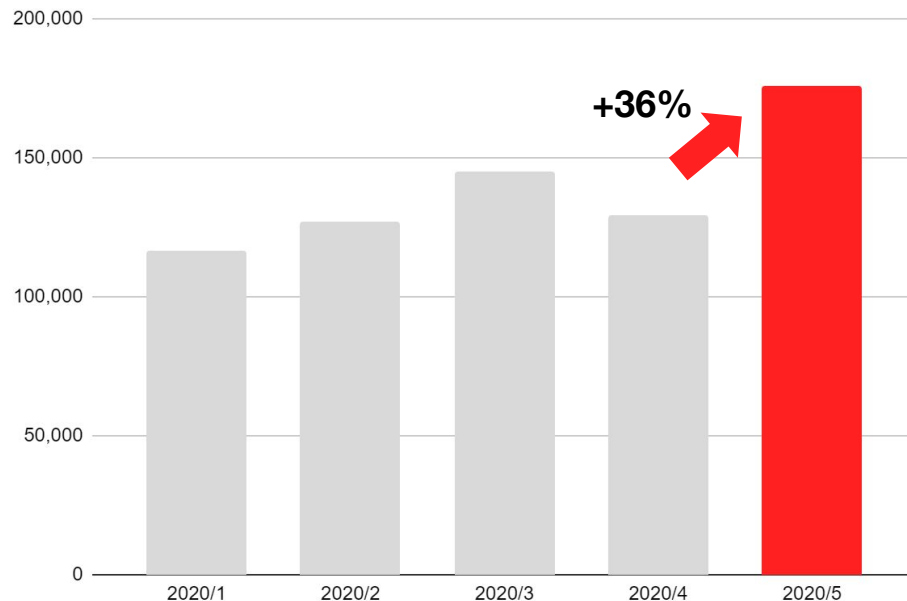


独自開発の電動アシスト自転車を投入します。
ご利用時間増や、デリバリーなどへの利用シーン拡大をはかります。

既に警察庁による型式認定は完了しており、量産に向けて開発進行中です。

三密を避けた移動・新たな生活様式にも貢献します

月間総ライド数
















	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5
月間総ライド数	116,000	127,000	145,000	129,000	176,000
1日あたり 最高ライド数	5,100	5,500	6,000	5,400	7,500

※月間総ライド数は百の位を、1日あたり最高ライド数は十の位を四捨五入しています。
※福岡県の緊急事態宣言期間(4/7~5/15)までの1日平均ライド数は約4,500/日でした。
※2020年6月の予想は約20万ライドです。

自転車領域での広範囲な知見

- クララオンライングループの豊富なモビリティリソースと横断的に連携
- 調達・整備体制などをグループ内ですべて完結し、高い品質管理とコスト効率を実現

シェアサイクルの調査研究事業	モビリティ領域のスタートアップ連携	国内最大のスポーツ自転車の買取・販売事業	自転車スポーツ界を世界レベルに引き上げ	まちの移動の、次の習慣をつくる	自転車製造・新たな流通モデル
 <p>調査研究事業 グループ横断のプロジェクトチームとして世界のシェアサイクル事業の調査を通じた都市戦略・交通戦略支援等を実施。</p> 	 <p>自転車投資</p> <p>投資育成事業 自転車領域における投資育成事業。福岡・鎌倉・東京などでシェアサイクルを展開する「コギコギ」や、国内最大級の自転車メディア「FRAME」などに投資。 *クララオンライン100%子会社</p> 	  <p>自転車買取販売事業 国内最大の店舗数・流通総額を誇る中古スポーツ用自転車・電動アシスト自転車のチェーンを27店舗展開。25%以上をEC経由で販売。 *クララオンライン100%孫会社</p> 	 <p>プロスポーツ分野 グループにて全日本実業団自転車競技連盟(JBCF, 片山右京理事長)と戦略的パートナーシップを締結し競技を通じた街づくりを支援。国内トップリーグ参戦チーム「VC福岡」と戦略的提携</p> 	 <p>シェアサイクル事業 「まちの移動の、次の習慣をつくる」をミッションとし、福岡でシェアサイクル事業を展開。国内でも有数の高い利用率。福岡市との共同事業。今後全国に順次エリアを拡大。</p> 	 <p>流通・D2C 自転車ライトブランドや電動アシスト自転車、ロシアブランドの子ども用自転車などの製造・販売のほか、日本国内向けのEC事業を展開。中国からのグループ内調達機能も兼ねる。</p> 
RESEARCH	INVESTMENT	EC/RETAIL	TOP-SPORTS	SHARING	DISTRIBUTION

会社概要

法人名	neuet株式会社 (neuet, Inc.)
本店登記地	東京都港区麻布台1-7-2
設立日	2019年7月26日 (株式会社メルカリ100%子会社の株式会社ソウソウからの新設分割による)
オフィス	東京: 東京都港区六本木7-10-25中島ビル 福岡: 福岡市中央区今泉2-5-28ノイラ天神ビル3階 名古屋: 名古屋市西区那古野2-14-14 なごのキャンパス
資本金	120,015,226円(資本準備金等を含む)
役員	代表取締役 家本賢太郎 取締役 松本龍祐(元 株式会社メルベイ取締役CPO) 取締役 長谷川大輔(株式会社クララオンライン取締役CFO)
事業内容	シェアサイクルサービス「チャリチャリ」の提供



1. 課題認識と自社における取り組み

持続可能な収支バランスと費用の適正化



都市あたりの収益確保を行うため人口密度や移動動向を重視

アプリ・ライドなどあらゆる場面でのお客さま体験の向上



自転車の設計、整備、運営、システム開発、CS等を全て自社内完結
(フレーム設計、クランク長、BOM管理も全て自社内)

調達コストの削減



グループ内の自転車販売店・製造部門・貿易部門などが連携
タイヤ・チューブの単価から細かく管理

利用マナー啓発・安全対策



アプリ内周知、自治体と連携した広報、メディアを通じた広報等
(市の広報媒体の協力を得た実施のほか、テレビ・新聞を通じた認知・広報)

自転車の偏り・再配置



再配置の必要の必要な箇所のシステムによる可視化
再配置を行うトラックの自社運営比率を上げ多頻度運行の実施

2. 改善・変化を期待する課題について

走行空間の整備



シェアサイクルの走行頻度が多い道路等における積極的な走行空間整備

利用促進とともに公有地の利活用のノウハウ共有期待



全国的な公有地における設置促進の判断ガイドライン

民地における周辺の構造物、駐車場等においては自動車等との分離に対する配慮の必要性



民地における設置促進のための必要な支援・費用補助
(※事業者に対する補助ではなく設置場所の所有者に対する補助)

駐車場用地のデッドスペースの利活用



「雑種地」である場合に住宅用地と同等の固定資産税とする等の減免措置

積極的な駐輪スペースの活用



わが国全体における公開空地・附置義務参入の方針策定

3. シェアサイクル全体の整理の必要性

■ 都市型のシェアサイクルと観光地型のシェアサイクルを分けた考え方の必要性

- 従来のレンタサイクルを起点とした数台から100台規模のシェアサイクル展開と、都市部における500~1万台規模のシェアサイクルとでは必要となる運営方式や利用頻度の想定が大きく異なる。
- わが国においてはこれらをひとくくりに「シェアサイクル」として捉えてきた経緯があると考えられるが、これらは求められる要件が大きく異なる。
- 都市型においては中途半端な展開規模では利用密度が上がらず採算ラインまで到達しにくい一方、数台から100台規模であっても料金プランの設定によって自転車あたりの採算をとる方法は存在するため、一概にどちらが正解であるかを決める必要はない。
- 世界のシェアサイクル市場を俯瞰した上で、都市型においては自転車やポートの密度を上げることで多頻度利用、観光地型においては1台あたりの総利用時間をKPIとした取り組みを期待したい。

(参考)海外都市との比較

都市名	福岡	ニューヨーク	ロンドン	ソウル	パリ	台北	★人口規模で同程度 モントリオール	トロント	★人口規模で同程度 ワルシャワ
都市人口(万人)	160	815	890	974	214	264	178	273	170
人口密度(人/km ²)	4,600	10,600	5,200	16,100	20,300	9,800	3,900	4,300	550
サービス名	Charichari	Citi Bike	Santander Cycles	Seoul Bike	Velib	You Bike	Bixi	Bike Share Toronto	Veturilo
ポート数	285	860	780	1629	1355	1348	600	465	377
自転車台数	1,500	14,000	9,300	8,900	18,000	21,600	5,200	5,000	5,400
1日あたり利用数	>8,000	>80,000	>40,000	>26,000	>70,000	>72,000	>37,000	>11,000	>20,000

※台北を除き他の比較対象都市は北緯40度を超過しており、夏季と冬季の寒暖差による利用差が大きい

※モントリオールは冬季は運営していない(1年のうち9カ月間の運営)

※数値は2019年実績について各社公表の数値につきneuet調べ